



今月の8日（木）、9日（金）は、1年間積み上げてきた活動の発表会を行いました。名付けて「わいわいフェスティバル」です。子どもたちが賑やかに楽しんだり、意欲的に活動したりすることを大事にして進めてきました。

各ご家庭では参観の日を楽しみに待っていてくださり、子どもたちが健康で1人1人が力を発揮できるように後押しをしてくださいました。毎日の健康管理をされて、子どもたちが安心感のもてる言葉を投げ掛けてくださっていました。お家の方のかかわりは子どもたちの自信につながりました。

園では、何度も協議を重ね、それぞれの年齢の活動のねらいを確認しあい、今の子どもたちにつけたい力を明確にして活動を積み重ねました。チーム桃青の職員が気持ちと力を合わせて子どもたちを支援してきました。園児と保護者様の安心と安全を第一に考え2日間の分散にしました。たくさんの方が参観にいられてうれしい気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。



「キャリア」自分の目標をもち自己実現できる幼児を育てる

表現活動では、1人1人の幼児の成功体験ができるよう教師がかかわり、自信がもてるようにしてきました。これらの過程を大切にして取り組むことで自己実現する力の基礎を育てています。

自信の積み上げによって、お家の人の前で力を発揮しました。素晴らしいですね。

表現遊び【3歳児】



3歳児は、絵本に親しんできた経験から、さらに想像力を豊かにしたいと考え「表現遊び」を楽しみました。日々の活動の中では、楽しむだけではなく「自立する力」を育むことも大事にしながら進めてきました。自分の役割や目標をもちながら、最後までやり遂げていました。

友だちと気持ちを合わせ、自分の役割を最後までやり遂げました。すごいですね。

オペレッタ表現【4歳児】



4歳児は、物語に出てくる主人公に生活経験を重ね合わせながら活動を進めました。今までの経験を振り返ったり、自分の役割を考えたりしながら活動を進めました。友だちの良さにも気づく中で「共生する力」を育むことを大事にできました。友だちと気持ちを合わせて活動していました。

話し合いを重ね、自分の気持ちに折り合いをつけて活動する力がつきました。成長しましたね。

劇表現【5歳児】



5歳児は、活動の中に「子ども会議」を取り入れて進めました。それぞれのアイデアを出したり、どのように表現をするかなどを話し合ったりして活動をしました。その中で「創造する力」を育むということをねらいました。友だちの話を聴いたり、自分の思いを伝えたりしていました。

この時期だからこそ、様々な目標をもって表現活動が充実しました。毎日の積み重ねの中で子どもたちが学んできたことはたくさんありました。発表会当日の姿も素晴らしいと思いますが、それまでの過程の中で学び合い、成長してきた子どもたちとその姿を支えてきた教師やお家の方がいたことを忘れないでいたいと思います。

多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り開く ～子どもたちは、社会の創り手に～

発表会後は、異年齢で余韻を楽しみました。活動の過程の中では、他学年の取り組みを見学しています。余韻を楽しむ週では、クラスを超えて一緒に体験してみる機会を設けて活動しました。

「大きい組さんってすごいね!」「太鼓をしてみたい!」など会話が弾みました。

これからも将来の姿を想像し、ひとつひとつにねらいをもってきめ細やかに教育を進めていきたいと考えます。

発表会ごっこ【全学年】



～桃青の保護者様のすばらしさを紹介します～

いろいろな寄贈をしていただいています。みなさまのご協力があり、教育に有効活用できます。



【手作り雑巾】



【思い出の詰まった絵本】



保育室で使ったり、バザーで販売したりする予定です♡

☆あさがおイラスト：あずさん

☆あさがおイラスト：はるまさん

(文責 松永 愛)